

平成28年度LCA日本フォーラム総会資料

- 第1号議案 平成27年度活動報告書 資料1
- 第2号議案 平成27年度収支決算書 資料2
- 第3号議案 平成28年度活動計画書 資料3
- 第4号議案 平成28年度収支予算書 資料4
- 第5号議案 平成28年度役員 資料5

参考資料1 平成28年度 専門委員会名簿

参考資料2 LCA日本フォーラム規約

平成28年7月11日
14時00分～14時50分
於：學士会館 210号室

LCA日本フォーラム
事務局：一般社団法人 産業環境管理協会

平成27年度活動報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 会議関係活動

1-1. 総会

◇平成27年7月30日 於 學士会館 302号室

平成27年度LCA日本フォーラム役員選任(案)を承認し、平成26年度活動実績報告書(案)、平成26年度収支決算書(案)、平成27年度活動計画書(案)及び平成27年度収支予算書(案)を審議し承認した。

<平成27年度役員(敬称略)>

- | | | |
|--------------|--------|--|
| 1. 会長: | 山本 良一 | 東京大学 名誉教授
東京都市大学 環境学部 特任教授 |
| 2. 副会長: | 稲葉 敦 | 工学院大学 先進工学部 教授 |
| | 足立 芳寛 | 東京工科大学 客員教授 |
| | 古賀 剛志 | 特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構 理事 |
| | 井上 宏司 | 経済産業省 産業技術環境局 局長 |
| (平成27年10月交替) | 片瀬 裕文 | 経済産業省 産業技術環境局 局長 |
| | 伊勢 清貴 | 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会委員長
トヨタ自動車株式会社 取締役・専務役員 |
| | 丹村 洋一 | 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
JFE スチール株式会社 代表取締役副社長 |
| | 小川 賢治 | 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部 部会長代行
太平洋セメント株式会社 取締役専務執行役員 |
| 3. 監事: | 笠井 清 | 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長 |
| | 二神 龍太郎 | キヤノン株式会社 環境統括センター 環境推進部 部長 |

1-2. 運営委員会

1回開催し、総会付議事項を審議、承認した。

◇第1回 平成27年 7月10日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

出席: 委員 19名、事務局 3名

議案: ・総会付議事項について(審議)

平成26年度活動実績報告書(案)、平成26年度収支決算書(案)、平成27年度活動計画書(案)及び平成27年度収支予算書(案)を審議、承認した。

・各専門委員会、研究会の活動について(報告)

1-3. LCA/DB委員会

2回開催し、LCA日本フォーラムデータベース活用状況の確認と「平成27年度データベース整備事業」について報告、検討した。

◇第1回 平成27年 5月26日 於 エッサム神田ホール 会議室

出席: 委員 11名、オブザーバー 3名、事務局 5名

議案: ・平成27年度データベース整備事業について

・連結データベースの公開の進め方について

・平成26年度 JLCA データベース利用・更新実績について

- ◇第2回 平成27年10月20日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
出席：委員 13名、オブザーバー 4名、事務局 4名
議案：・データベース整備事業説明会開催報告
・工業会への質問状送付結果報告
・工業会提供データ等のIDEAを用いた上流連結作業に関わる業務報告
・連結データの公開への意思確認について

1-4. 情報企画委員会

2回開催し、セミナー開催計画、ニュースレター発行計画及び情報発信等の普及活動について検討した。

- ◇第1回 平成27年 7月 3日 於 TKP 神田駅前ビジネスセンター
出席：委員 8名、事務局 3名
- ◇第2回 平成27年 11月20日 於 産業環境管理協会 会議室
出席：委員 9名、事務局 1名
(上記共通) 議案：・平成27年度セミナー開催計画と実績報告
・平成27年度ニュースレター発行計画と実績報告
・情報発信、普及活動について

1-5. 研究活動委員会

継続の研究会(=2件)の活動について、事務局からの報告の確認を行った。

1-6. LCA日本フォーラム表彰選考委員会

「平成27年度 第12回LCA日本フォーラム表彰」に関する各賞最終選考を行った。

- ◇平成27年12月3日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
出席：委員 8名、オブザーバー 1名、事務局 2名
議題：・表彰選考WGによる事前審査結果について審議
・第12回LCA日本フォーラム表彰の最終選考審査

1-7. LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

2回開催し、「平成27年度第12回LCA日本フォーラム表彰」に関する募集要項を検討し、応募申請内容の事前審査を行い、その結果をLCA日本フォーラム表彰選考委員会に提出した。

- ◇第1回 平成27年 6月 25日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
出席：委員 6名、事務局 2名
議案：・平成26年度第11回LCA日本フォーラム表彰の総括(報告)
・平成27年度第12回LCA日本フォーラム表彰の概要(検討)
- ◇第2回 平成27年11月 26日 於 産業環境管理協会 F会議室
出席：委員 6名、事務局 2名
議案：・WG委員による一次審査について
- ◇事前審査 委員 7名、応募件数 14件

2. JLCAデータベース管理活動

2-1. データベース運用実績

データベースログイン実績 約1,890件 (前年 約1,850件)
データダウンロード実績 約650件 (前年 約650件)

2-2. データ新規追加・更新状況

■2015年度1版 (2015/4/1-2015/6/30)

- 日本カートリッジリサイクル工業会のインベントリデータを自主的提供データとして3件新規追加
 - 1 リサイクルトナーカートリッジ A3・ドラム一体型・カラー
 - 2 リサイクルトナーカートリッジ A3・ドラム一体型・モノクロ
 - 3 リサイクルトナーカートリッジ A3・ドラム分離型・カラー
- 合成ゴム工業会のインベントリデータを1件修正
 - 1 BR(ブタジエンゴム)非油展
※誤って「BR(ブタジエンゴム)油展」として登録されていたため
- クロロカーボン衛生協会のインベントリデータを1件修正
 - 1 トリクロロエチレン
※誤って「参考データ」として登録されていたため「工業会提供データ」へカテゴリ変更

■2015年度2版 (2015/7/1-2015/9/30)

- 日本カートリッジリサイクル工業会のインベントリデータを自主的提供データとして4件新規追加
 - 1 リサイクルトナーカートリッジ A4・ドラム一体型・カラー
 - 2 リサイクルトナーカートリッジ A4・ドラム分離型・モノクロ
 - 3 リサイクルトナーカートリッジ A4・ドラム分離型・カラー
 - 4 リサイクルトナーカートリッジ A4・ドラム一体型・モノクロ

■2015年度4版 (2016/1/1-2016/3/31)

- 一般社団法人セメント協会のインベントリデータを3件更新
 - 1 ポルトランドセメント製造
 - 2 高炉セメントB種製造
 - 3 フライアッシュセメントB種製造

2-3. 平成27年度データベース整備事業

平成27年度データベース整備事業は、「工業会提供データ等のIDEAを用いた上流連結作業に関わる業務」(産業総合研究所へ委託)と「各工業会との内容説明・意見調整等に関わる業務」(産業環境管理協会へ委託)の2つが協働で行われた。本事業の中で、JLCA工業会データとIDEAとの連結データベースの構築及び公開・利用方法について、データベース連結作業や各工業会とのデータベース内容確認、公開意思確認を行った。事業の中では工業会と受託者との活発な意見交換が行われLCA/DB委員会に報告された。ホームページへの連結データベース公開に向けた準備が進められた。

3. 研究会活動

3-1. 「組織のLCA」研究会

◇「組織のLCA」WGメンバー

委員長 稲葉 敦(工学院大学 先進工学部 教授)

委員 本下晶晴(国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員)

WGメンバー	株式会社 資生堂	富士通株式会社
	三菱電機株式会社	サンメッセ株式会社
	TOTO株式会社	株式会社カネカ

	アズビル株式会社	日本生活協同組合連合会
	旭硝子株式会社	株式会社明電舎
	大日本印刷株式会社(日本印刷産業技術標準化推進協議会)	
オブザーバー	経済産業省	みずほ情報総研株式会社

◇「組織のLCA」研究会 実施内容

UNEP/SETAC ライフサイクルイニシアチブが発行したガイダンスを参考に、「組織のLCA」の実施事例を作成し、計算方法の確立の検討と、SCOPE3 との相違の分析を行った。

第1回 平成27年 4月17日 於 産業環境管理協会 会議室
 第2回 平成27年 6月 5日 於 産業環境管理協会 会議室
 第3回 平成27年 8月20日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
 第4回 平成27年11月25日 於 産業環境管理協会 会議室
 第5回 平成28年 2月16日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
 (日本LCA学会 第21回講演会(平成27年12月開催) 事例発表)

3-2. 「容器包装の環境効率」研究会

◇「容器包装の環境効率」WG メンバー

委員長 平尾雅彦(東京大学大学院 工学系研究科 教授)
 委員 中谷 隼(東京大学大学院 工学系研究科 助教)
 アドバイザー 田崎智宏(国立研究開発法人国立環境研究所 循環型社会システム研究室 室長)
 WG メンバー 東洋製罐株式会社 株式会社エフピコ
 大日本印刷株式会社 レンゴー株式会社
 凸版印刷株式会社 サッポロビール株式会社
 日本テトラパック株式会社 三笠産業株式会社
 三井化学株式会社
 オブザーバー 一般社団法人プラスチック循環利用協会

◇「容器包装の環境効率」研究会 実施内容

主に機能性評価指標の検討を行い、容器包装の環境効率手法を確立する事例研究を行った。

【検討内容】

- 1 容器包装の環境効率 概念の整理
- 2 付加価値項目の検討
- 3 環境負荷項目の検討
- 4 コミュニケーション方法の検討

第6回 平成27年 4月 7日 於 エッサム神田ホール 601会議室
 第7回 平成27年 5月15日 於 産業環境管理協会 会議室
 第8回 平成27年 8月 4日 於 産業環境管理協会 会議室
 第9回 平成27年10月 6日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
 第10回 平成27年11月27日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
 第11回 平成28年 1月15日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター
 第12回 平成28年 3月 8日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター

4. 普及・情報交流活動

4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催

LCA日本フォーラム20周年記念シンポジウム・祝賀会を開催した。

LCA日本フォーラムが主体開催のセミナーを3回開催し、3件のイベントへ協力をした。

① LCA日本フォーラム20周年記念シンポジウム・祝賀会

日時：平成27年 10月 28日

場所：東海大学校友会館 「阿蘇の間」

参加：150名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容：

来賓挨拶 経済産業省 産業技術環境局長 井上 宏司

来賓挨拶 一般社団法人日本経済団体連合会 環境安全委員会廃棄物・リサイクル部会長代行
太平洋セメント株式会社 取締役 専務執行役員 小川 賢治

招待講演 「長期の温暖化対応戦略」

(前会長) 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長 茅 陽一

招待講演 「エコマテリアルとしての鉄鋼製品」

新日鐵住金株式会社 代表取締役副社長 柳川 欽也

招待講演 「トヨタ中長期の環境取組み」

トヨタ自動車株式会社 専務役員 伊勢 清貴

講演 「LCA日本フォーラム20年史」

LCA日本フォーラム 会長/東京大学 名誉教授 山本 良一

講演 「日本のLCAと海外のLCA」

LCA日本フォーラム 副会長/工学院大学 教授 稲葉 敦

② LCAフォーラム表彰「平成27年度第12回LCA日本フォーラム表彰記念講演」

日時：平成28年 2月 5日

場所：イノホール&カンファレンスセンター

参加：120名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容：第12回LCA日本フォーラム表彰受賞者 (5. LCA日本フォーラム表彰参照)

③ 平成27年度LCA日本フォーラム/日本LCA学会共催セミナー

「環境マネジメントに関する国際規格、海外の動向」

日時：平成28年 3月10日

場所：大手町ファーストスクエアカンファレンス

参加：100名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容：

講演1 「ISO14001の2015年改正について：LCA関連事項を中心に」

合同会社グリーンフューチャーズ 社長 吉田 敬史

講演2 「ISO TC207 SC7：温室効果ガスマネジメント」

一般財団法人日本エネルギー経済研究所 研究理事 工藤 拓毅

講演3 「ISO TC207 SC3/SC5：環境ラベルを中心に」

工学院大学 先進工学部 教授 稲葉 敦

講演4 「欧米の建築分野におけるLCA/EPD活用動向」

一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業推進センター 片岡 顯

講演5 「ホットスポット分析に関する国内外の動向」

東京都市大学 環境学部 教授 伊坪 徳宏

報告1 国際会議参加報告「World Resources Forum 2015, Davos」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員 畑山 博樹

報告2 国際会議参加報告「Transformations2015, Stockholm」

一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業推進センター 柴原 尚希

【共催・後援イベント】

◇第20回日本LCA学会/LCA日本フォーラム共催 講演会

「環境マネジメントにおけるマルチクライテリア評価と意思決定」

日時： 平成27年 7月24日 場所： 全日通霞ヶ関ビル 会議室

主催： 日本LCA学会 共催： LCA日本フォーラム

参加： 100名(講演者、関係者含む)

◇国際会議 EcoDesign2015

日時： 平成27年12月2-4日 場所： 東京国際フォーラム

主催： エコデザイン学会連合 後援： LCA日本フォーラム 他

◇ワークショップ「欧州環境フットプリントとマルチクライテリア評価の動向」

日時： 平成28年 2月18日 場所： 航空会館 大ホール

主催： 経済産業省事業 後援： LCA日本フォーラム/日本LCA学会

参加： 130名(講演者、関係者含む)

4-2. JLCAニュースレター発行

下記のとおりニュースレターを発行し、会員及び関係機関に配信した。

◇第68号：平成28年 3月 (特集 第12回LCA日本フォーラム表彰 1)

◇第69号：平成28年 3月 (特集 第12回LCA日本フォーラム表彰 2)

(5. LCA日本フォーラム表彰参照)

【英語版】

LCA国家プロジェクトの成果であり、LCA日本フォーラムのホームページにおいて公開しているLIME2の英語版説明資料を、引き続き News Letter 英語版として下記を発行し、シリーズを完了した。

No.19 LIME2 : Life-cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling

Chapter 3 - Integration of Environmental Impacts

4-3. WEB コンテンツ情報更新、普及活動

◇コンテンツの情報更新

・JLCAデータベース：データ新規追加・更新状況

・セミナー等のイベント開催案内、開催報告

・LCA表彰、研究会等の募集、開催報告

◇メール情報配信 20件

LCA、環境効率関連のニュース、会員からの情報提供、フォーラム主催イベントなどの情報を、会員(ユーザー登録会員)に対して発信した。

5. LCA日本フォーラム表彰

LCA、環境効率に係わる優れた活動を表彰する「第12回LCA日本フォーラム表彰」が実施され、「経済産業省産業技術環境局長賞」、「会長賞」、「奨励賞」、「功労賞」を、下記の通り表彰した。

■平成27年度第12回LCA日本フォーラム表彰

部門	受賞者	活動の名称
経済産業省産業技術環境局長賞		
環境 経営	味の素グループ 味の素株式会社 代表取締役 取締役社長 最高経営責任者 西井孝明	飼料用アミノ酸の研究開発・生産・販売による 食糧・環境問題解決へのグローバルな貢献活動
LCA日本フォーラム会長賞(2件)		
環境 経営	株式会社安藤・間 技術本部 常務執行役員 技術本部長 世一英俊	カーボンフットプリントを活用した建築物のCO ₂ 排出量の「見える化」
研究・ 教育・ 普及	ユニ・チャーム株式会社 CSR本部 環境ISO推進グループ	CO ₂ 排出量低減にも貢献する、使用済み紙おむつ 資源化技術の開発
LCA日本フォーラム奨励賞(6件)		
環境 経営	富士フイルム株式会社	富士フイルムグループのLCAを活用した環境負 荷削減の取り組み
環境 経営	積水化学工業株式会社 CSR推進部 環境経営グループ	事業活動による環境影響と環境貢献効果に関する LIME2を活用した統合化評価
環境 経営	ブラザー工業株式会社 環境推進部	プリンター及びファクシミリにおけるエコリーフ 環境ラベル取得による環境配慮製品の創出活動
研究・ 教育・	富士通株式会社 環境本部 本部長 竹野実	持続可能な社会を目指した環境出前授業の実施
環境 経営	アズビル株式会社	バリューチェーン全体での環境負荷削減に向け た、製品LC-CO ₂ を活用した環境配慮設計の推進
環境 経営	大和電機工業株式会社 経営企画室	事業所の事業形態に合わせたMFCAの導入
功労賞		
水野建樹(一般社団法人未踏科学技術協会 研究主幹) 青木良輔(元一般社団法人産業環境管理協会 技術参与)		

6. 国際対応活動

海外動向調査として以下の国際会議へ専門家を派遣した。

◇国際会議 「Transformations 2015」

日時：2015年10月 5日～7日

場所：スウェーデン、ストックホルム

主催：Stockholm Resilience Centre, Stockholm University

派遣者 一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業推進センター 柴原 尚希
(4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催:③参照)

◇国際会議 「World Resources Forum 2015」

日時：2015年10月11日～14日

場所：スイス、ダボス (The Davos Congress Centre)

主催：World Resources Forum Association

派遣者 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 研究員 畑山 博樹
(4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催:③参照)

平成27年度LCA日本フォーラム収支決算

(単位：円)

1 一般事業収支					
	科目	H27年度 予算額	H27年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
1	会費	15,491,000	14,545,000	△ 946,000	@ 100,000 円× 19 工業会Ⅰ = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会Ⅱ = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会Ⅲ = 600,000 @ 30,000 円× 18 工業会Ⅳ = 540,000 @ 80,000 円× 5 団体 = 400,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 87 優先企業A = 4,350,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 27 一般企業A = 2,160,000 @ 50,000 円× 13 一般企業B = 650,000 @ 30,000 円× 35 一般企業C = 1,050,000 @ 30,000 円× 46 大学等 = 1,380,000 @ 13,000 円× 45 個人 = 585,000
2	特別DB利用料	140,000	119,000	△ 21,000	@ 7,000 円× 17 LCA学会会員 = 119,000
3	セミナー参加費	200,000	65,000	△ 135,000	
4	雑収入	4,000	4,163	163	利息等 4,163
当期収入合計(A)		15,835,000	14,733,163	△ 1,101,837	
II	支出の部				
1	委員会関係費	500,000	367,495	△ 132,505	委員謝金 93,000 委員旅費 36,180 会場費 216,873 会議費 21,442
2	研究会活動費	1,500,000	532,052	△ 967,948	研究会活動費 ・「組織のLCA」研究会 241,040 ・「容器包装の環境効率」研究会 291,012 データベースサーバー保守・管理費 824,000 レンタルサーバー利用費 166,660 ホームページ更新・管理費 699,840 システム更新積立費(特別収支へ移行) 4,000,000 講師/関係者 謝金・旅費 253,560 会場費 1,083,861 印刷費 461,346 会議費 885,010
3	システム維持管理費	5,900,000	5,690,500	△ 209,500	委員会、審査関係費 303,640 表彰式、講演会関係費 1,628,237 翻訳費 0 原稿料 244,000 海外調査 1,114,944 TC207協力金(H27年度分) 30,000 エコバランス国際会議 500,000 日本LCA学会(H27年分) 100,000 事業支出額の約20% 1,860,000 事務局人件費の約15% 280,000 実費経費 216,491
4	セミナーシンポジウム	4,500,000	2,683,777	△ 1,816,223	
5	LCA表彰	1,900,000	1,931,877	31,877	
6	広報誌発行費	2,000,000	244,000	△ 1,756,000	
7	国際対応活動費	1,530,000	1,644,944	114,944	
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	0	
9	事務局人件費	3,000,000	1,860,000	△ 1,140,000	
10	事務局経費	650,000	496,491	△ 153,509	
当期支出合計(B)		21,580,000	15,551,136	△ 6,028,864	
当期収支差額(A-B)		△ 5,745,000	△ 817,973	4,927,027	
前年度繰越金(C)		10,284,811	10,284,811	0	
次期繰越収支差額(A-B+C)		4,539,811	9,466,838	4,927,027	

2 特別収支(システム更新積立金)

(単位：円)

	科目	H27年度 予算額	H27年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
		4,000,000	4,000,000	0	
当期収入合計(D)		4,000,000	4,000,000	0	
II	支出の部				
		7,200,000	7,200,000		事業委託費
		500,000	0	△ 500,000	ホームページ/サーバー更新作業費
当期支出合計(E)		7,700,000	7,200,000	△ 500,000	
当期収支差額(D-E)		△ 3,700,000	△ 3,200,000	500,000	
前年度繰越金(F)		8,968,700	8,968,700	0	
次期繰越収支差額(D-E+F)		5,268,700	5,768,700	500,000	

会計監査確認書

平成27年度 LCA 日本フォーラム会計書類を監査し、その正当なることを確認致しました。

平成28年4月14日

監事

東京都中央区新川1丁目4番1号
一般社団法人日本化学工業協会
技術部

部長 笠井 清



監事

東京都大田区下丸子3丁目30番2号
キヤノン株式会社
環境統括センター 環境推進部

部長 二神 龍太郎



平成28年度活動計画書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

環境マネジメントに関する国際規格化動向、欧州委員会における環境フットプリントやGHGプロトコルにおけるScope3の進展、あるいは、自治体・工業会におけるGHG排出量の削減貢献量の取り組みなど、サプライチェーン全体を通じたLCAの活用が国内外に広がっている。

こうした中、LCA日本フォーラムは、昨年度10月に設立から満20周年を迎えた。新たな始まりとともに、平成10年からの第1期LCAプロジェクト以来の成果を広く我が国産業界に一元的に公開し続け、LCAの発展に欠くことのできないLCAデータベース(JLCA-DB)の利便性向上を図り、今後の在り方について広く議論を行い、さらなる発展を期すこととする。

その他、今年度も下記を柱とした活動を行う。

- ① LCAデータベース(JLCA-DB)運営管理及び積極的活用の促進
- ② LCA日本フォーラム表彰の実施
- ③ 情報発信活動としてセミナーの開催とニュースレターの発行
- ④ LCAと環境効率の研究会活動の活発化とLCA研修事業の実施
- ⑤ 国際動向の積極的な調査

1. 事業内容

1-1. JLCA-DB活用促進及び運営管理に係わる活動の実施

- ① 昨年度は工業会データとIDEAの具体的な連結作業を工業会と協働で実施した。今年度はその成果を持ってフォーラム会員向けに公開する。また、公開後の問合せ対応等のフォローアップを行うのは勿論のこと、今後、さらなる活用を促すため、工業会データを見直し連結データの公開を行う意思のある工業会に向け、連結作業を円滑に進めるための支援事業を実施する。(委託先:産業技術総合研究所および産業環境管理協会)
- ② 国際的なデータベースネットワークへのフォーラムとしての対応を計画、検討するワーキンググループを運営委員会の下に設置する。

1-2. LCA表彰事業活動の実施

- ① 日本国内のLCAと環境効率に係わる優れた活動および製品・サービスを表彰する。
経済産業省産業技術環境局長賞
LCA日本フォーラム会長賞
LCA日本フォーラム奨励賞
功労賞
- ② 表彰式 受賞者の表彰式と表彰記念講演会を実施する。
 - 第13回LCA日本フォーラム表彰記念講演会(平成29年2月)

1-3. 情報発信活動の実施

- ① LCAと環境効率に関連したセミナーを4回程度開催する。
 - 総会併設セミナー (平成28年7月11日)
 - 地方開催セミナー : びわ湖メッセ併設(平成28年10月21日)

- 国際ワークショップの開催または協力(平成28年10月～11月)
- 海外動向、国際規格等の関心度の高いテーマを選定(平成29年1月)
- ② LCAと環境効率に関連した情報掲載の「フォーラムニュース」を4刊程度発刊する。
- ③ ホームページのコンテンツの充実を図る。会員限定サービスを検討する。
- ④ メールマガジン等により、LCAと環境効率に関連する情報を提供する。

1-4. 研究会活動の実施

- ① 平成27年度に引き続き、下記の研究会活動の継続を実施する。
 - 「容器包装の環境効率」研究会
 - 「組織のLCA」研究会
- ② 研究活動委員会にて新規1～2件程度の研究会を設置し、WGメンバーを公募にて募集し、各研究会の委員長を中心に研究会を実施する。

1-5. LCA研修の実施

LCA実施者の裾野を広げるべく、データベースの継続運営、会員サービスへの強化を含めたフォーラム全体の活性化を目的とし、本年度より、フォーラム主催のLCA研修(入門コース)を実施する。4つの地域会場にて各1～2回程度開催する。

- 東京会場(10～11月、1月～2月)
- 大阪会場(11月)
- 名古屋会場(11月)
- 九州会場(11月)

1-6. 国際動向調査と国際会議等への協力

- ① 国際動向調査としての国際会議へ専門家を派遣する。
- ② 国際会議、学術会議等への協力(TC207、日本LCA学会、エコバランス国際会議等)

2. 年間スケジュール予定

2-1. 委員会

- ① 通常総会 年1回 (7月11日)
- ② 運営委員会 年1回程度 (6月)
- ③ LCA/DB委員会 年1回程度 (6月)
- ④ 情報企画委員会 年3回程度 (4月、8月、2月)
- ⑤ 研究活動委員会 年1回程度 (6月) またはメール審議
- ⑥ 表彰選考委員会 年1回程度 (最終選考12月)
- ⑦ 表彰選考ワーキンググループ 年2回程度(6月、12月)

2-2. 情報発信

- ① LCA日本フォーラム表彰 応募期間(7月～11月) 表彰式(2月)
- ② セミナー開催 年4回程度 (7月、10月～11月、1月)
- ③ ニュースレター発刊 年4回程度 (10月～2月)
- ④ ホームページ更新(ニュース配信随時、コンテンツ改訂等)

平成28年度LCA日本フォーラム収支予算書

(単位：円)

1 一般事業収支

	科目	H27年度 予算額	H27年度 決算額	H28年度 予算額	
I	収入の部				
1	会費	15,491,000	14,545,000	14,545,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 18 工業会 III = 540,000 @ 80,000 円× 5 団体 = 400,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 87 優先企業A = 4,350,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 27 一般企業A = 2,160,000 @ 50,000 円× 13 一般企業B = 650,000 @ 30,000 円× 35 一般企業C = 1,050,000 @ 30,000 円× 46 大学等 = 1,380,000 @ 13,000 円× 45 個人 = 585,000 @ 7,000 円× 17 LCA学会 = 119,000
2	特別DB利用料	140,000	119,000	119,000	@ 7,000 円× 17 LCA学会 = 119,000
3	セミナー参加費	200,000	65,000	100,000	
4	雑収入	4,000	4,163	4,000	利息 4,000
当期収入合計(A)		15,835,000	14,733,163	14,768,000	
II	支出の部				
1	委員会関係費	500,000	367,495	500,000	委員謝金 150,000 委員旅費 200,000 会場費 100,000 会議費 50,000
2	研究会活動費	1,500,000	532,052	3,000,000	研究会活動費 (研究会 3件) 1,500,000 LCA研修事業 1,500,000
3	システム維持管理費	5,900,000	5,690,500	7,000,000	データベースサーバー保守・管理費 1,000,000 レンタルサーバー利用費 200,000 ホームページ更新・管理費 1,000,000 データベース事業継続費 800,000 システム更新積立費 (特別収支へ移行) 4,000,000
4	セミナー・シンポジウム	4,500,000	2,683,777	3,000,000	講師謝金・旅費 1,000,000 会場費 1,000,000 印刷費 500,000 会議費 500,000
5	LCA表彰費	1,900,000	1,931,877	2,000,000	委員会、審査関係費 400,000 表彰式、講演会関係費 1,600,000
6	広報誌発行費	2,000,000	244,000	1,800,000	原稿料・原稿作成費 300,000 翻訳費 1,500,000
7	国際対応活動費	1,530,000	1,644,944	1,530,000	海外調査 1,000,000 TC207協力金 (H28年度分) 30,000 エコバランス国際会議協力金 500,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	100,000	日本LCA学会 (H28年分) 100,000
9	事務局人件費	3,000,000	1,860,000	2,900,000	事業支出額の約20% 2,900,000
10	事務局経費	650,000	496,491	600,000	事務局人件費の約15% 400,000 実費経費 200,000
当期支出合計(B)		21,580,000	15,551,136	22,430,000	
当期収支差額 (A-B)		△ 5,745,000	△ 817,973	△ 7,662,000	
前年度繰越金 (C)		10,284,811	10,284,811	9,466,838	
次期繰越収支差額 (A-B+C)		4,539,811	9,466,838	1,804,838	

2 特別収支 (システム更新積立金)

(単位：円)

	科目	H27年度 予算額	H27年度 決算額	H28年度 予算額	
I	収入の部				
	当期収入合計(D)	4,000,000	4,000,000	4,000,000	
II	支出の部				
	LCAデータベース事業	7,200,000 500,000	7,200,000 0		
当期支出合計(E)		7,700,000	7,200,000	0	
当期収支差額 (D-E)		△ 3,700,000	△ 3,200,000	4,000,000	
前年度繰越金 (F)		8,968,700	8,968,700	5,768,700	
次期繰越収支差額 (D-E+F)		5,268,700	5,768,700	9,768,700	

平成28年度LCA日本フォーラム役員

(敬称略)

会長:

山本 良一 東京大学 名誉教授

副会長:

稲葉 敦 工学院大学 先進工学部 教授

足立 芳寛 東京工科大学 客員教授

古賀 剛志 特定非営利活動法人エコデザイン推進機構 理事

(新) 末松 広行 経済産業省 産業技術環境局長

(旧) 井上 宏司 経済産業省 産業技術環境局長

伊勢 清貴 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会 委員長
トヨタ自動車株式会社 専務役員(新) 佐久間総一郎 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長

新日鉄住金株式会社 代表取締役副社長

(旧) 丹村 洋一 JFEスチール株式会社 代表取締役副社長

(新) 三浦 啓一 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部会 部会長代行

太平洋セメント株式会社 取締役常務執行役員

(旧) 小川 賢治 太平洋セメント株式会社 取締役専務執行役員

監事:

笠井 清 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長

二神 龍太郎 キヤノン株式会社 環境統括センター 環境企画部長

平28年度 LCA日本フォーラム 運営委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属/役職	
1	委員長 稲葉 敦	工学院大学	先進工学部 環境化学科	教授
2	副委員長 古賀 剛志	特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構	理事	
3	副委員長 伊吹 隆直	一般社団法人日本鉄鋼連盟	技術・環境本部	本部長
4	副委員長 櫻井 光一	三菱電機株式会社	環境推進本部	本部長
5	委員 足立 芳寛	一般社団法人機械振興協会 東京工科大学	副会長 客員教授	
6	委員 石谷 久	東京大学	名誉教授	
7	委員 國部 克彦	神戸大学	大学院 経営学研究科	教授
8	委員 平尾 雅彦	東京大学	大学院工学系研究科 化学システム工学専攻	教授
9	委員 水谷 広	日本大学	生物資源科学部	教授
10	委員 伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境マネジメント学科	教授
11	委員 成田 暢彦	名古屋産業大学	環境情報ビジネス学科部	学部長教授
12	委員 浅川 和仁	一般社団法人日本自動車工業会	環境統括部	部長
13	委員 前田 泰史	一般社団法人日本ガス協会	環境部	部長
14	委員 筒井 将年	一般社団法人日本自動車部品工業会	技術部	上席次長
15	委員 田島 徹也	一般社団法人電子情報技術産業協会	環境部	環境グループ長
16	委員 笠井 清	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
17	委員 西尾 健二	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会	環境部	担当部長
18	委員 吉良 雅治	一般社団法人日本産業機械工業会	産業機械第一部 兼 技術部	部長
19	委員 佐野 正之	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	環境・省エネ部	担当部長
20	委員 葉石 善一	一般社団法人日本建設業連合会		常務執行役
21	委員 細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
22	委員 松浦 弘之	一般社団法人日本ガス石油機器工業会		事務局長
23	委員 中野 直男	一般社団法人日本アルミニウム協会		理事
24	委員 笠原 隆男	石油化学工業協会	業務部 兼 企画部	担当部長
25	委員 三浦 安史	石油連盟	技術環境安全部	統括グループ長
26	委員 岡峰 克幸	電気事業連合会	立地環境部	副部長
27	委員 大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会		理事 環境委員長
28	委員 小野寺 浩幸	株式会社日立製作所	CSR・環境戦略本部	副本部長
29	委員 本堂 義行	株式会社東芝	環境推進室	
30	委員 山崎 誠也	富士通株式会社	環境本部	グリーンソリューション推進部長
31	委員 二神 龍太郎	キヤノン株式会社	環境統括センター 環境推進部	部長
32	委員 秋山 佳春	日本電信電話株式会社	ネットワーク基盤技術研究所 環境基盤プロジェクト	プロジェクトマネージャー
33	委員 服部 桂治	経済産業省 産業技術環境局	環境経済室	室長

平成28年度 LCA日本フォーラム LCA/DB委員会名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	平尾 雅彦	東京大学大学院工学系研究科	化学システム工学専攻	教授
2 副委員長	小野 透	新日鐵住金株式会社	技術総括部	上席主幹
3 委員	原田 幸明	国立研究開発法人物質・材料研究機構	元素戦略材料センター	特命研究員
4 委員	松野 泰也	千葉大学大学院工学研究科	建築・都市科学専攻 都市環境システムコース	教授
5 委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門	グループ長
6 委員	笠井 清	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
7 委員	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部	担当次長
8 委員	細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
9 委員	棚橋 昭	一般社団法人日本自動車部品工業会 株式会社デンソー	安全衛生環境部	部長
10 委員	金子 一彦	一般社団法人日本産業機械工業会 株式会社荏原製作所	内部統制・リスク管理統括部 環境推進室	室長
11 委員	竹村 洋行	一般社団法人日本ガス協会	環境部 地球環境グループ	マネジャー
12 委員	野村 正義	一般社団法人日本アルミニウム協会 昭和電工株式会社	技術本部 環境安全室	スタッフマネージャー
13 委員	小坂 裕	一般社団法人電線総合技術センター	研究開発グループ	主査研究員
14 委員	長縄 肇志	塩ビ工業・環境協会	技術部	部長
15 委員	久保 昌史	日本鋳業協会	技術部兼環境保安部	次長
16 委員	野口 計	ステンレス協会 日新製鋼株式会社	技術総括部 環境・省資源推進室	室長
17 委員	瀧ヶ崎 薫	一般社団法人日本建設業連合会 前田建設工業株式会社	技術研究所	上席研究員

平成28年度 LCA日本フォーラム情報企画委員会

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境マネジメント学科	教授
2 委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所 (日本LCA学会 企画委員会委員長)	安全科学研究部門	グループ長
3 委員	菊池 康紀	東京大学	統括プロジェクト機構 「プラチナ社会」総括寄付講座	特任准教授
4 委員	和泉 昭宏	一般社団法人プラスチック循環利用協会	調査研究部	環境影響評価部長
5 委員	前川 均	株式会社日立製作所 情報・通信システム社	経営戦略室 環境推進本部 環境戦略センタ	シニアエキスパートスタッフ
6 委員	木村 祐一	株式会社リコー	環境推進本部 社会環境室 企画グループ	スペシャリスト
7 委員	中橋 順一	旭化成株式会社	環境・安全部	副部長
8 委員	大橋 憲司	株式会社資生堂	CSR部 環境企画室	
9 委員	小野 光司	日本生活協同組合連合会	環境事業推進部	
10 委員	柴田あゆみ	大日本印刷株式会社	包装事業部 技術開発本部 製品開発部	
11 委員	吉村 祐美	東洋製罐株式会社	環境・品質保証本部 環境部	

平成28年度 LCA日本フォーラム研究活動委員会

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	水谷 広	日本大学	生物資源科学部	教授
2 委員	伊香賀 俊治	慶應義塾大学	理工学部 システムデザイン工学科	教授
3 委員	醍醐 市朗	東京大学	大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	特任准教授
4 委員	小松 郁夫	東洋製罐株式会社	環境品質保証・資材本部 環境部	課長

平成28年度 LCA日本フォーラム表彰委員会

(順不同・敬称略)

No	氏名	組織名	所属/役職	
1 委員長	石谷 久	東京大学	名誉教授	
2 副委員長	足立 芳寛	一般社団法人機械振興協会東京工科大学	副会長 客員教授	
3 副委員長	三浦 啓一	太平洋セメント株式会社	取締役常務執行役員	
4 委員	池田 三知子	一般社団法人日本経済団体連合会	環境本部長	
5 委員	内山 洋司	筑波大学	名誉教授	
6 委員	國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
7 委員	長野 光博	日刊工業新聞社	取締役 編集局長	
8 委員	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	理事 環境委員長	
9 委員	服部 桂治	経済産業省 産業技術環境局	環境経済室	室長
10 委員	傘木 和俊	一般社団法人産業環境管理協会	執行理事	

平成28年度 LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

No	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	成田 暢彦	名古屋産業大学	環境情報ビジネス学部	学部長 教授
2 委員	中嶋 道靖	関西大学	商学部	教授
3 委員	宇郷 良介	湘南工科大学	工学部 人間環境学科	教授
4 委員	芝池 成人	東京工科大学	工学部 機械工学科	教授
5 委員	玄地 裕	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門	総括研究主幹
6 委員	根村 玲子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	環境委員	
7 委員	青木 良輔	Office RECHO (元 一般社団法人産業環境管理協会 技術参与)		

LCA日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、LCA日本フォーラム（以下「フォーラム」という。）と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、我が国におけるLCA情報センターの役割を果たすことを目的として、経済産業省プロジェクトとして構築されたLCAデータベース（以下、「データベース」という。）の管理運営を行うとともに、学際的、業際的視点に立ち、ライフサイクルアセスメント（以下「LCA」という。）の研究の成果および情報の集積、LCA関係者間の交流促進、並びにLCAの啓発・普及活動を推進することとする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) LCAデータベースの維持管理の運営
- (2) 会員へのLCA関連情報提供
- (3) 会員間の交流活動としてのセミナー等の開催および国際交流の実施
- (4) LCA研究の場の提供およびLCA標準化への貢献
- (5) 前各号のほか、目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、団体等会員、学術組織会員、優先企業会員、工業会Ⅱ登録企業会員、一般企業会員、大学研究室等会員および個人会員とする。

- 2 工業会Ⅰ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力し、利用経費部分については工業会会員企業の自由意思に任せる工業会。
- 3 工業会Ⅱ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力するとともに、当該工業会会員企業のデータベース利用経費部分について工業会として協力する工業会。
- 4 工業会Ⅲ会員は、データベース構築に協力した工業会の内、年間事業規模が別に定める額以下の工業会であって、基本経費部分に協力する工業会。
- 5 団体等会員は、データベース構築に参画しなかった工業会、国公私立の研究機関等であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 6 学術組織会員は、フォーラムの目的および活動に賛同し、基本経費部分に協力する組織。
- 7 優先企業会員は、工業会Ⅰ会員の会員企業であって、データベース利用を行う企業。
- 8 工業会Ⅱ登録企業会員は、工業会Ⅱ会員により登録された企業であって、データベース利用を行う企業。
- 9 一般企業会員は、工業会Ⅰ会員および同Ⅱ会員いずれの工業会の会員企業でなく、基本経費部分に協力するとともにデータベース利用を行う企業。
- 10 大学研究室等会員は、大学の研究室およびそれに準じるグループ又は非営利組織であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 11 個人会員は、いずれの組織に属さない個人であって、基本経費部分に協力するとともに、データベース利用を行う者。

(会費)

第5条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。

3 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとします。

- (1) 法人又は団体が解散又は破産したとき。
 - (2) 死亡又は失踪宣告を受けたとき。
 - (3) 会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。
- (除名)

第7条 会員が別に定めるLCAデータベース運用規則又は会費規則に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1) 会長1名および副会長若干名
 - (2) 監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
 - 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。
 - 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
 - 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(総会)

第9条 総会は会員をもって構成する。

- 2 総会は、会長、副会長および監事の選任、事業計画、予算・決算の承認、その他重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 総会は、構成員の2分の1以上の出席をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。

(運営委員会)

第10条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 委員 約20名
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員の中から会長が選任する。
 - 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、委員会に付議する事項を審議する。
 - 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
 - 5 第8条第6項の規定およびただし書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
 - 6 第9条第4項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(部会および委員会)

第11条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会および専門委員会を置くことができる。

(事務局)

第12条 フォーラムの事務局は、社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

附 則

1. この規約は、平成7年10月25日より施行する。
2. この規約の改正は、平成16年4月1日より施行する。
3. この規約の改正は、平成17年4月1日より施行する。